

第3回検討委員会(9/30)の内容



第3回検討委員会:平成16年9月30日(木):栄区役所

1 再編案について

第3回委員会では、第2回委員会で事務局から提案のあった再編案について、各委員が所属団体に周知し、意見をもち寄ることになっていたことから、所属団体から、次のとおり報告がありました。

<所属団体からの意見> (は事務局からの回答)

犬山小PTA

中学校の再編が小学校の後だと、同じ子どもが小・中で再編を経験することになり落ち着いた学校生活が送れなくなるのではないかと懸念。中学校を先に統合してほしい。

単級により、人間関係が固定化した状況が継続されることによる弊害等の緊急度から判断して、小学校再編を優先して着手することにしたい。

犬山小の耐震工事を早くしてほしい。

再編後のクラス数が適正規模の最低ラインの12学級なので、その後11学級が見えてくるような再編案はおかしいのではないかと懸念。

犬山小の敷地で上郷中を大きくし、小学校の再編場所は矢沢小にするのはどうか。

上郷西連合(西ヶ谷ハイツ)

通学路の関係で、学校を選べるようにしてほしい。

通学上の安全問題については、組み合わせを検討した後、対応することになる。

公田小PTA

公田小は20年度まで適正規模であるのに、今回何故再編対象校に入らなければならないのか。新規の住宅建設があるので、児童数は減らないのではないかと懸念。

事業者による建設計画を照会したデータを含めて推計をした結果、減少傾向が見込まれるため、再編対象としている。

再編のメリットがクラス替えができることの一点で提案されているが、クラス替えができないことで問題が生じた頻度や支障があった内容について明確に提示してほしい。

小規模校の問題点は、クラス替えができないことだけではない。集団が必要な演技や競技、発表会が行いにくいことや学校経営面、教員の校務面等においても問題が生じている。

小中隣接校の優先については、距離的なことは関係ないのではないかと懸念。

矢沢小PTA

保護者説明会を開催してほしい。

再編場所については通学距離も大切だが、建物の構造・安全性・環境なども考慮してほしい。

犬山小は、全面改修を予定している。そのなかで安全面、環境面は改善されると思う。

本郷中央連合(湘南桂台)

理事会と子供会に説明したが、特段の意見は出なかった。

本郷中央連合(フローラ桂台)

父母会で説明したが、絶対反対という意見は出なかった。当自治会の場合は、矢沢小より犬山小の方がはるかに近くなる。また、早い時期に中学校の統合を進めてほしいという意見があった。

上郷西連合(民生委員)

上郷南小に行く子は多くないので、庄戸中に生徒数は増えないのではないかと懸念。そうなると、中学校の統合問題が出てくるのではないかと懸念。

矢沢小学校

まちとともに歩む学校づくり懇談会で、一つの町内会の中で学校が分かれるのは困るという自治会からの意見があった。また、単級は子供の成長にとっては望ましいことではないので、統合は前向きに考えてよいのではないかと大学の先生の意見があった。

公田小学校

公田小の進学先は桂台中と本郷中だが、本郷中に行く子は本郷小にしてもらえないかと懸念があった。

基本的な枠組みが定まった後で、周辺の学校への通学は検討できると思う。

野七里小学校

統合に反対ということはなかったが、通学手段としてスク - ルバスなどの考慮はないのかという意見と、学区の弾力化についての要望があった。

通学安全問題として、今後検討していく。

桂台小学校

特段の意見は入ってこなかったが、通学安全についてはクリアする必要がある。

上郷東連合（上郷）

理事会において説明したが、特に意見は出なかった。当町内会は、5つの小学校に分かれてしまう複雑な地域なので、学区の弾力化は必要だ。

通学安全問題として、今後検討していく。

< 検討委員の意見 >

野七里小の子は、環状4号線を渡って上郷南小に行くより、平坦な道で通学できる犬山小に行く方がよいと思う。

学区の細かい調整については、今の時点ですべて出していくと複雑になるので、この再編の組み合わせについて理解をいただいた後に提案したいと思う。

いろいろな面から考えて、現状では妥当な線だと思う。

中学校の再編を優先してほしいという意見はいつ検討してもらえるのか。

再編の考え方と考慮事項については、前回、全会一致で合意を得ている。時期を早めてという点については検討もありうる。

参考意見として、スクールバスが可能なら再編場所を2校にすることもできるのではないかと。

この会議の内容は、大変厳粛なものだと思っている。検討委員は、この内容を逸脱しないよう地域に伝えていただきたい。犬山小の全面改修では、グラウンドに死角が生じないように、また不審者が校内に侵入しないよう、そういった点に考慮した設計をしていただきたい。

学校が膨張して分かれていく時は、合意を得やすいと思うが、縮小する時は倍のエネルギーが必要だ。この点を踏まえ再編問題を論議していく必要がある。

栄区内の7校の中学校については、栄区全体の問題として、将来考えていく時期が来ると思う。もっと、基本的な問題としてあるのが、教育に対する市民負担のことだ。横浜市が、市民が、保護者が、今後、重い負担を背負わされることがないように、今から、大きな見地に立って先を見ながら、検討をしていくことが必要だと思う。

採決の仕方について慣れていなかったため、再編の考え方については前回、全会一致となったが、今回の再編案については、この時期では了承できない。

再編については反対ではないが、PTAに持ち帰って説明しなければならない。

所属団体の会長として、この再編問題を任されてこの場に臨んでいると判断している。

この場合は、委員長の採決にイエスかノーかをはっきりさせる場だ。

出された意見については、執行にあたって十分尊重し考慮すればよい。この会がよいものを作り上げるには、歩み寄れるものは歩み寄り、いい結果を生み出していくことが大切だと思う。

この会議の内容が、もろ手をあげて拍手をしてという中身でないことはわかるし、たまたま選ばれて、いろいろな思いをもってこの席にいてもよかった。したがって、この再編案については、賛成多数で了承という表現にしたいと思う。

統合の組み合わせが決まった後も、引き続き全体会で検討していくのか。

実施時期とか学校名とか、学区の一部変更とか、2校間の問題だけでは検討できないことが残っている間は全体会で検討する方がよいのではないかと考えている。

個別支援学級の子が、再編されると通学が困難になるという話がある。どこかの時点で判断してもらいたい。

学校長とも相談のうえ検討する。

再編案は、賛成多数で了承されました。

なお、実施に向けては、各団体から出されたご意見を配慮することにします。

2 今後の進め方について

- 第1回 7月6日 ・横浜市及び栄区の小規模校の現状
- 第2回 8月27日 ・小規模校再編の考え方
- 第3回 9月30日 ・小規模校再編案について



第4回目以降の 検討事項

- ・実施時期
- ・新学校名
- ・通学安全
- ・学区の一部変更
- ・教育内容
- ・跡利用要望

教育委員会あてに意見書を提出

小規模校再編検討の経緯

(横浜市)

・横浜市立小・中学校の通学区域のあり方に関する検討委員会の設置(平成14年11月)

・横浜市立小・中学校の通学区域のあり方についての提言(平成15年3月)

・横浜市立小・中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域制度の見直しに関する基本方針(平成15年12月)

・上記実施計画の公表(平成16年4月)

(栄区)

第1回検討委員会(7/6)の内容

- ・横浜市の小・中学校の現状とそれに対する方針の説明
- ・栄区の現状・検討対象校についての説明

第2回検討委員会(8/27)の内容

1 学校及び地域の現況についての説明

- (1) 通学区域と自治会・町内会
- (2) 各小学校の通学路
- (3) 学校別運営経費

2 小規模校再編案について

(1) 考え方及び考慮事項

考え方 小学校の再編を優先すること。

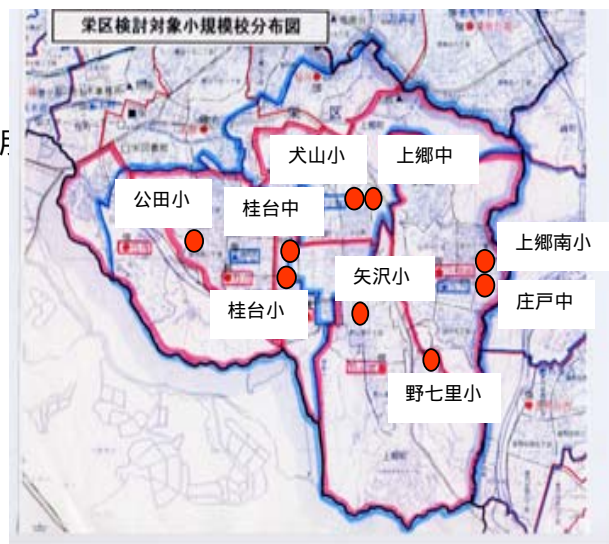
中学校については、小学校再編の結果を踏まえて検討すること。

再編後の新たな学校(統合校)の教育環境を向上させるため、小学校と中学校の教育の連携を図れること。

考慮事項 ○通学距離・通学時間の観点から、通学区域の適正化が図れること。

○再編後、適正規模を確保できること。

○地域コミュニティとの関わりの観点から、自治会・町内会のまとまりを考慮すること。



考え方及び考慮事項については、全会一致で了承されました。

(2) 再編案

- ・考え方及び考慮事項に基づき、6小学校を3小学校にする再編案が提案されました。

矢沢小 + 犬山小

野七里小 + 上郷南小

公田小 + 桂台小

* 統合後、新校はアンダーラインの学校施設を活用します。

* 再編場所の考え方

- ・再編後の通学区域 : 通学距離・時間がより短いこと
- ・小中連携教育 : 小・中学校が近接していること
- ・施設の安全性 : 犬山小 全面改修工事を予定
: 上郷南小 耐震補強工事完了
: 桂台小 室内環境整備工事・耐震補強工事完了

第3回検討委員会までに事務局に寄せられたご意見やご質問(要旨)

- ・中学校の再編を優先してほしい。
- ・小学校の再編を優先する理由を教えてください。
- ・保護者説明会を開いてほしい。
- ・通学路の安全を確保してほしい。
- ・再編が、特定の学年に集中しないようにしてほしい。
- ・現在、適正規模校である公田小・桂台小の再編は必要か。
- ・クラス替えができないために指導に支障があった事例を提示してほしい。
- ・少人数学級の効果についての視点が欠けている。
- ・小中連携を理由とした統合案には納得できない。
- ・犬山小の全面改修工事を早期に実施してほしい。
- ・検討委員会ニュースが手元に配布されるのが遅い。

次回検討委員会の日程

平成16年11月4日(木)

18時

栄区役所会議室

栄区小規模校再編検討委員会の経過・横浜市の基本方針等は
ホームページでもご覧いただけます。

* 横浜市教育委員会HP

・基本方針等 : <http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>

・栄区小規模校再編検討委員会 :

<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/shoukibo/index.html>

栄区小規模校再編検討委員会では、常に皆様からのご意見をいただいております。
FAXかEメールにて事務局までご連絡ください。

・栄区小規模校再編検討委員会事務局

横浜市教育委員会事務局学校計画課

TEL : 671 - 3253 FAX : 651 - 1417

Eメール : ky-sakae@city.yokohama.jp

